

夢がかがやく上有住

藍染作品づくり体験

10月4日、藍染体験の教室が開催され、中学生を含む総勢14名が藍染の工程を学びました。紐やクリップを使った模様付けや、染色液など浸す方法など、一つ一つの工程を丁寧に進めました。仕上がった作品はどれも個性的で、一部は後日開催された八日町市日で販売されました。



紐やクリップを外して模様が現れるドキドキも楽しい

秋の八日町市日

上有住の恒例行事の一つ、秋の八日町市日が10月25日に開催されました。秋の恵みが会場にずらりと並び、両手いっぱい買い求める人で賑わいました。オープニングには高校生と小学生によるダンスで盛り上げ、運営には中学生が加わるなど、若い力が光るイベントとなりました。



卵パックがもらえるサイコロゲームは大好評です

講演会「秋の夜長の世迷言」

東海新報の「世迷言」を執筆している(株)東海新報社代表取締役の鈴木英里氏の講演会が、11月21日に開催されました。執筆にあたっての工夫や社会情勢についてなども話されたほか、地元・気仙地域への思いも語られました。講演後は参加者からも世迷言が語られ、秋の夜長を過ごしました。



参加された方々の日々の思いが語られました

五葉地域づくり委員会

ミニ運動会

10月12日に開催された「あるもので考えて用意する」がモットーの五葉地区のミニ運動会は、創意工夫が詰まった楽しい競技10種目で、赤組と白組が競いました。各競技は子どもから高齢者まで楽しめるように考案され、見ているだけでも面白おかく、笑いの絶えない運動会となりました。



コーンをかぶっての「人間輪投げ」

さつまいもの収穫作業

遊休農地を活用した特産品づくりとして、初夏に苗植えしたさつまいもの収穫作業が、10月19日に実施されました。豊作だった昨年に比べ小さい芋が多かったですが、参加した皆さんで秋の実りを分かち合いました。手慣れた地域の方々に混じって、役場の若手職員も作業に参加しました。



生育状況を見ながら収穫日を見定めて実施しました

「移動支援」の研修

五葉地区では、住民同士の支え合いの移動を考える研修会が始まっています。11月5日に岩泉町へ事例視察に訪問したり、12月3日は視察報告会が開催されました。加齢により車の運転が困難となった時に備え、支え合いの移動支援について法制度などを学びながら、五葉の「結」の力で実行可能な方法を模索しています。



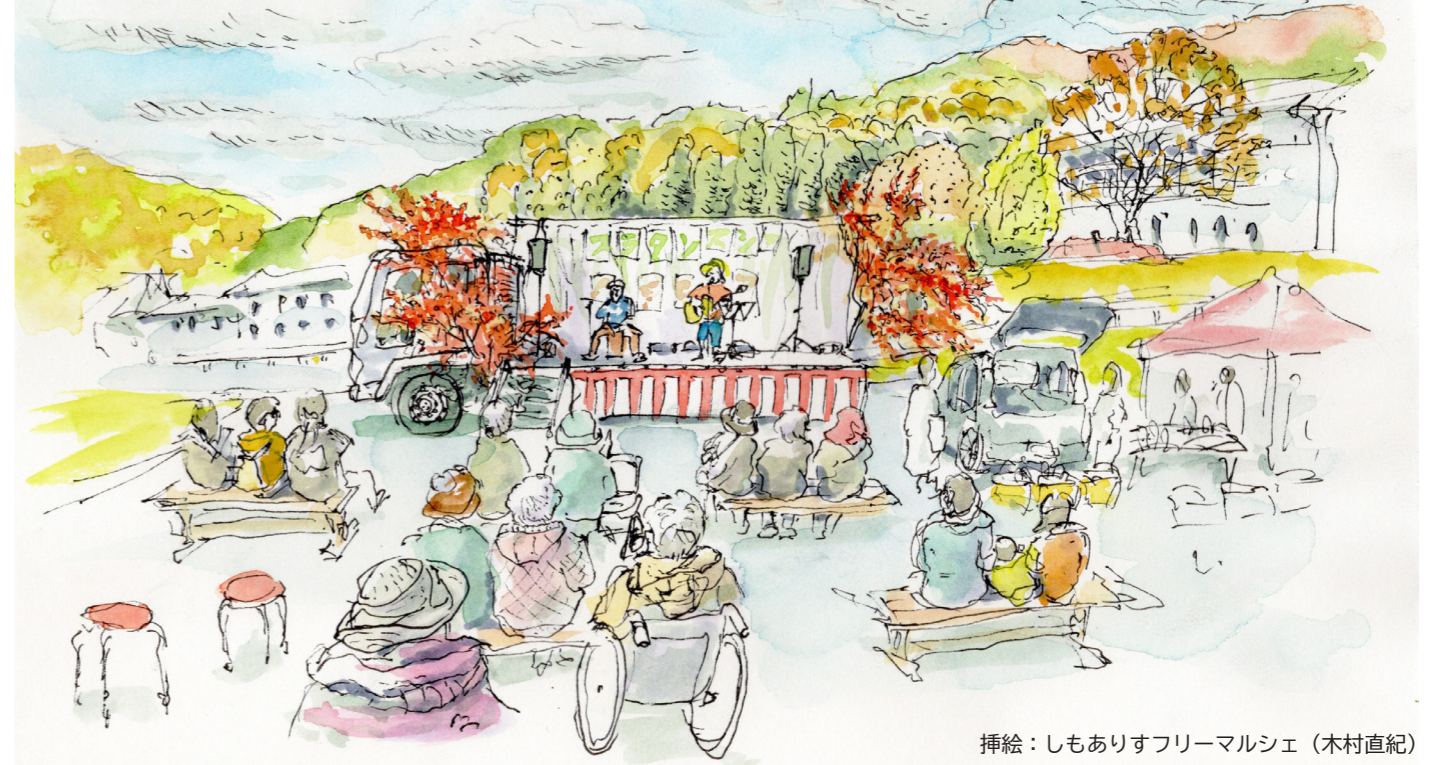
岩泉町を訪れ、交通空白地有償運送の事例を学びました



「小さな拠点づくり」5地区の活動を伝える

五つ星ニュース

第12号



挿絵：しもありすフリーマルシェ(木村直紀)

秋の行事でも多様な世代が参加

この秋も町内の各地では、運動・文化・食といったこの季節らしい行事がたくさん開催され、子供から高齢者まで多様な人々が交流する時間がたくさんありました。

全国的には地域づくりの担い手は60~70歳代が中心となる傾向がありますが、小さな拠点づくり活動ではどの地区も中高生や若い世代にも参加してもらう工夫が練られています。この秋の例では、上有住では八日町市日に中高生の参加の機会を提供したり、五葉や大股では若い世代でも参加できる運動会のメニューを考えたりしており、その他の地区でも夏の行事などで工夫を凝らしています。

また、子どもの参加機会を作ることで、その保護者の世代も参加する機会につながるこ

とが期待されます。多様な世代に地域づくりの光景を見せていくことは、地域の営みを広く伝える最も良い手段のように思います。



上有住では、住田町子ども会育成会連絡協議会の皆さんもイルミネーション設置作業に参加しました

住田町「小さな拠点づくり」の活動を伝える 五つ星ニュース 第12号 2025年12月 発行

【発行】

一般社団法人邑サポート
住田町世田米字世田米駅 105-1
TEL 070-2021-6142

【編集協力】

住田町教育委員会
住田町世田米字川向 88-1
TEL 0192-46-3863

9月下旬~ 12月上旬の各地区の活動

下有住いきいき活動協議会

第2回 新・地元学

9月にスタートした新・地元学では11月11日に第2回目が開催され、自分たちの地区の大切にしている資源について語り合いました。外館・新切・月山・火の土の4つのテーブルに分かれ、神社や伝統芸能、郷土料理、鉱山跡などについての情報や思いを共有しました。今後も話し合いを重ねて、これらの大切な資源を巡るまち歩きツアーを企画する予定です。



みんなが大切にしていることや課題を出し合いました

そばの収穫作業

この夏に地域の方たちや子どもたちと蒔いたそばの種が秋に実りを迎え、9月30日に下有住そば栽培管理組合の皆さんの協力のもと、収穫作業が進められました。今年の夏は降雨が少なく生育が心配されましたが、地域の方々の水やりなどの手入れの甲斐もあり、昨年以上の収穫量となりました。今年も乾麺とそば粉をイーガストすみ等で販売中です。



コンバインを使った収穫の後も乾燥・選別の作業も

各地区の活動一覧

地区	活動内容	
下有住	10月 そばの収穫作業 11月 しもありすフリーマルシェ 第2回 新・地元学 そば打ちおさらい会	
	9月 イルミネーションイベント 実行委員会 10月 藍染作品づくり体験 役員会 秋の八日町市日 路線バス体験ツアー 事前勉強会 11月 講演会「秋の夜長の世迷言」 イルミネーション設置作業 12月 葉山めがね橋水園 チェーンソーアート作品設置事業 イルミネーションイベント 実行委員会	
	10月 ミニ運動会 11月 さつまいもの収穫作業 「移動支援」事例視察会 12月 「移動支援」研修会 役員会	
世田米	9月 懐かし写真部会 (第2回) 10月 懐かし写真展 ウォーキング講座 11月 出張ヨガレッスン ウォーキング講座 (第3回) 12月 チューリップ球根植え作業 マーブルアート講座	
	大股	9月 大股子ども縁日 買い物ツアー 10月 買い物ツアー ミニクップ大会 11月 買い物ツアー 役員会 12月 イルミネーション設置作業 買い物ツアー

世田米いきいきづくり

懐かし写真展

10月24日より3日間、世田米商店街にあった三沢写真館に残された写真を展示する「懐かし写真展」が、住田町文化・産業まつり「文化展」の会場にて開催されました。昭和の頃の世田米のお祭りや、日常の光景、行事の集合写真などの写真が展示されました。昔をよく知る方の協力を得て説明の札を作ったほか、展示会当日もガイドをしてくださいました。



来場者に当時の様子を案内するガイドさん

ウォーキング講座

10月28日、秋の種山を楽しむウォーキング講座が企画されていましたが、町内でも熊の目撃情報が増えていたことから、急きょ、町なかでの開催に変更になりました。健康運動指導士の菊池広人さんが先導して進むコースでは、皆さんには普段歩かないようなところのようで、「こんなところがあったんだ!」という発見もあったようです。



小雨中でも、はつらつと町なかを歩きました

チューリップ球根植え作業

厳しい寒さとなった11月30日、フラワー部会では、ふれあい河川公園の花壇にチューリップの球根を植える作業を行いました。子どもを含む15名が参加し、プランターに丁寧に球根を並べる作業を進めました。雪不足で水分が足りなかったのか咲かない年もあったそうですが、今年は全部きれいに咲くのをみんな楽しみにしています。



春の満開を想像しながら丁寧に植え付けました

しもありすフリーマルシェ

11月3日の文化の日、実りの秋を味わうしもありすフリーマルシェが、今年も賑やかに開催されました。野菜、お米、ドーナツ、加工食品、雑貨、服など、地域のお店が出店して販売され、どのお店も大繁盛でした。色づいたもみじで飾られたトラックのステージも、イベントを盛り上げました。



トラックの荷台のステージではフラダンスショー

スマイル大股

大股子ども縁日

かき氷、スーパーボール、ガチャガチャ、射的、飲み物、お菓子釣りなどなど、みんなが楽しみにしている子ども縁日が今年も9月23日に開催されました。お店を担当するのは中学生や小学生。小さな子どもたちにも楽しんでもらえるよう、お兄さん、お姉さん達が優しく手引きをする優しい時間がありました。



小さな子にも優しく手引きをする店番の中学生

ミニクップ大会

さまざまな世代の方々が参加できる大股のミニクップ大会が10月11日に開催されました。総勢32名の参加のもと、高校生と20代の若手が審判を務め、男女混じったチームで和気あいあいとゲームが進んでいきました。全5チームがトーナメント形式で対戦し、スポーツの秋を大股の皆さんで満喫したようです。



若手の審判員がゲームを盛り上げました

イルミネーション設置作業

冬の大股の新たな名所として定着しつつある、大股地区公民館のイルミネーション。今年も地域の皆さんによる設置作業が行われました。12月7日、午前中の冷たい空気のなか、毎年作業に携わる方々は慣れた手つきで、みるうちに電飾が取り付けられていきました。地域の皆さんのチームワークも光っていました。



みんなの手で公民館を飾ってみんなの場所に